



NO.1287

10月11日

発行所

日本共産党
網走市委員会
網走市北八西三
四三二一四四五八
F 四三二一四四五七

9月議会 決算審査特別委員会

新たに2つの特別会計に賛成!

第3回定例会の後半は、平成31年度決算審査が、議長と議会選出の監査委員を除く14名で行われました。日本共産党議員団は、それぞれ分担して審査にあたりました。

今回は、これまで反対してきた市有財産整備特別会計と能取漁港整備特別会計の決算について、以下の理由をあげて新たに賛成しました。

市有財産整備特別会計 被害家屋の補償進む

本会計は、市の分譲地の地盤沈下による家屋の損傷で転居や改修が必要となった問題です。原因は、沢地を公園用地としていたのを埋め立てて宅地として分譲したため起きたものです。

この間、移転補償や家屋改修をはじめ測量など、24億67百万円をかけてきた結果、指定地域で2件、要観察地でゼロ件、隣接地で1件とほぼ安定したことと、今後も変化があれば対応することとなった。

能取漁港整備特別会計

制度活用し赤字減少

本会計は、最高時56億円を超える赤字でありましたが、国の制度も活用しながら元金を

半分に減らす事業を行い、一般会計から毎年の繰り入れで今までに26億5千万円を投入し、今回の決算では1億9千万円に減少した。

これは、市民の温かい理解があつてこそであり、感謝しかない。遠くない時期に、この会計が解消されることも想像されます。これまで、筋を通して反対してきましたが認定することになりました。

学校給食調理員の状況は?

正職員6名、会計年度任用職員35名体制で維持

村椿 給食調理員の状況は? 市 R2年度から会計年度任用職員制度が始まる中、9人のパート職員が辞めた。ハローワークや全戸チラシを配布し募集をした結果、新たに9人の会計年度任用職員が確保できた。

※ 市は31年度に学校給食の民間委託の方針を出しましたが、市民の反対署名や請願が出され議論となりました。また、給食調理員が確保できたことから、現在は今までどおり自校給食をしています。

正職員を増やし、会計年度任用職員の労働条件を良くするなど今後給食調理員の確保の対策が必要です。



菅首相の本音の姿

菅首相の本音の姿が早くも見えてきました。ことあるうちに日本学術会議の人事に介入したことが、赤旗の10月1日号の1面でスクープされ、各メディアも報道し、問題となつていきます。日本学術会議法は、会員を同会議の推薦に基づいて、首相が任命すると定めています。任期は6年で3年ごとに半数が交代します。これまで推薦候補を任命しなかったことはありません。理解できないのは推薦されなかった6名の任命しない理由が示されないことです。推薦にあつては、推薦理由を書いて提出しているの、少なくとも任命しない理由を明らかにすべきです。

このことは、憲法23条の学問の自由を脅かし、日本学術会議の存在意義の否定にもつながるものです。戦後、吉田内閣の時に学術会議ができ、公選制で選んでいたのを中曽根内閣が任命制にして大きな議論になりましたが、「学術会議の推薦に基づいて任命する」と国会答弁があり、安倍首相まで守られてきました。菅首相は何故これだけは安倍政治を継承しなかったのか。

村椿が語る



雨と晴れを繰り返す。家がやまぶどうは不作。コクワ、クルミ、栗(向陽の方)にいただく、ドングリと色とりどりに実をつけている。トチノミは向陽通りに落ちていた。これも網走の豊かさだ。



「自助・共助・公助」と自己責任を押し付け、政治の責任は後回しの菅首相。トラベルもイートもお金と時間を持つている人は良いが、多くの人が生活に苦しんでいる中で簡単にできることは何か。消費税込減税。莫大な経費をかけて

配布するより、今は消費税を取らなければいいのだ。ドイツや韓国など15ヶ国は消費税減税し、弱者に寄り添う姿勢だ。国民みんなが豊かさを感じる政治に変えて行こう。

流水

怒! 付度。政権投げ出しにメディアは7年8ヶ月続いた安倍政権の検証もせず、菅首相を『苦勞人』と持ち上げる。そして操作された高支持率に、早期解散も目論見む。『森友、加計』問題は決着済み『桜を観る会』は中止と、幕引きを狙う。元官房長官として長期に安倍政権を支え、その責任は免れない。コロナ感染が収まらぬ東京都にもGo Toキャンペーンを拡大する。専門家から『あぶない』と声上がる。世界中コロナ感染症の拡大は収まらず死者が100万人を超える中、『入国緩和する方針』を表明。かなり急な緩め方で心配、感染を広げる恐れがあると、危惧する。▼

菜園周りの草刈りで腰を痛め走れなくなった。病院には行かず浜小清水にある温泉に通う。モール泉お湯はとても熱く源泉かけ流しで肩こり腰痛に効く。膝を痛めた時も利用した。1ヶ月程毎日温泉で汗を流した。▼痛みが取れ久しぶりに走る藻琴海岸。浜では鮭を狙って釣竿が林立、帯広から来てテント生活1ヶ月以上と言う同年代の夫婦。真っ黒く潮焼けした顔で『釣れても釣れ無くても楽しい』と、笑っている。帰りは砂浜を走る、イスに座って竿先を見つめ『今日もボウズだ』と、笑う。明日は釣れるさ、明日があるさ!ととても暖かい日で久しぶりの走り流れる汗が虹色に光った。アスリート爺